

山谷で無縁仏供養

高齢化で福祉不足も

「日雇い労働者の街」
 として知られる東京・台東区
 の山谷地区で23日夕、身寄りのないまま亡
 くなった人々を弔う無縁
 仏供養が営まれた。玉姫
 公園で毎年開催されてい
 る「山谷夏祭り」(主催：NPO「自立支援センタ
 ーふるさと会」)の一
 環。高野山真言宗・高野
 山東京別院の板坂光明寺

務長が導師を務め、東京
 青年教師会の山田一能会
 長ら3人が出仕した。
 同祭は今年で38回目。
 無縁仏供養は高齢者の孤
 独死が増えたことを受け
 て、同会が東京別院に依
 頼。以後20数年間続けら
 れている。今年も大勢が
 焼香。カレー800食の
 炊き出しも行われた。
 山谷地区では高齢化が



今年も大勢がお参りし焼香した

一層進み、労働者の街か
 ら福祉の街へと変貌。「ふ
 るさと会」の佐久間裕

章代表理事は「故郷との
 縁が切れてしまった方が
 高齢で介護が必要にな
 り、簡易宿泊施設などで
 の一人暮らしが難しくな
 っている。そうした人
 が、住み慣れた地域で生
 きていくためのサポート
 が足りない」と指摘する。
 山谷地区や台東区、墨
 田区、新宿区で生活困窮
 者支援を行っている「ふ
 るさと会」では、共同
 居住施設を33カ所で運
 営。現在約400人が入
 居しているが、「すぐ満員
 になってしまふ」(佐久間

代表理事) 状態だ。同会
 では廃業した旅館や空き
 家を改装して施設を増や
 すなど、既存施設の活用
 での対応を考えていると
 いう。
 法要を終えた板坂寺務
 長は「今年も猛暑が続き、
 皆さん大変だったと思い
 ます。今年の夏祭りにも

大勢の方々にお参りいた
 だき、本当に良かった。
 と感慨深そうに話した。